

ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東7条9丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

謹賀新年



新年明
けまして
おめでとう

うごかします。輝かしい新年をお迎えのこと、心よりお喜び申し上げます。

今の政治は、民主主義が否定され、地方の声が無視され続けています。それは、JRR問題に象徴されるように、地方での生活そのものも否定されている

一人ひとりが大切にされる 安心社会の実現



感があります。

また、安倍政権の国会での横暴ぶりは目に余るものがあり、もっと謙虚で丁寧な国会運営をしてもらいたいものです。

立憲民主党の誕生

安倍総理は、森友学園や加計学園の疑惑を隠すため、総選挙に打って出ました。

これに対抗すべき野党第一党の民進党は、希望の党との合流を目指したものの、希望の党の小池代表の「排除」の論理で、民進党はバラバラになり、急遽立憲民主党を立ち上げ、総選挙を戦

うことになりました。

結果は、立憲民主党が第一党に躍り出たものの、与党に議席の三分の二を許すことになってしまい、厳しい国会運営は何も変わりはま

せんでした。今後、立憲民主党が中心の野党になると思われませんが、国民の声に耳を傾け、国民に寄り添う政治をしてほしいと思っています。

国追隨の道政

2003年に北海道知事に就任した高橋知事は、現在4期目の知事として北海道のリーダーを務めています。国追隨の道政では、この厳しい北海道の環境を変えることはできません。

とりわけ、JRR北海道の路線維持問題についても、情報提供に留まり、道が主体的役割を担う決意を読み取ることはできません。

今後私たちは、高橋知事の道政検証を進める中から、来年春に迫った知事・道議

二〇一八年

夢への一歩



選、統一自治体選挙を戦わなければなりません。

居場所と出番を

私の政治信条は、「地域で頑張る人が報われる社会の実現」であり、その実現には「誰」でも居場所と出番のある社会」が必要です。

北海道は、可能性豊かな地域です。その中央に位置する上川地域こそ、知恵と工夫を組み合わせることに、より、もっとたくましく飛躍できるものと思っており、その為にも私は、人を大切に、一人ひとりの発想や思いを受け止めることができる政治家を貫き、これからも頑張る決意です。

結びに、本年が皆さまにとりまして、幸多い一年となりますようご祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶と致します。

第4回定例道議会報告(11月28日~12月14日)

進めぬ国会論議

衆議院は、9月28日解散、

10月22日投開票という突如の選挙を経ましたが、山積する課題への国会での論議は一向に進んでいません。

特に、本道が直面する、JR北海道や空港民間化などの交通政策や一次産業の乱暴な見直しなどへの対応も不明確なままです。

そうした中で、高橋知事は、2019年度の知事選に向けての自らの進退にふれる発言を繰り返していま

ようやく支援表明

す。

昨年11月にJR北海道が

「JR単独では維持することが困難な路線」を公表してから、1年が経過しましたが、JR、国、道のいずれもが責任を回避する対応を重ねる中で、何らの方向性も出さないうまま、時間ばかりが過ぎました。この問題は、利用者や地域が切り捨てられることにつながる課題であるにもかかわらず、放置されたような状態が続



決算特別委員長として、決算審査結果を報告(11月28日)

いています。

私たちの追及に対し高橋知事は、定例会の終盤で、やっと、道の財政支援措置の検討を表明する趣旨の答弁をしましたが、それも、JR、国、道、市町村の論議は、すべてこれからで、具体性はありません。道内鉄道を取り巻く基本的な状況は何ら変わらず、国やJR北海道の対応を動かし、全道の交通ネットワークを維持していくためには、知事のリーダーシップに基づいた道の主体的で積極的な取り組みが欠かせないのです。

やはり国の対応待ち

また、会派の一般質問で

は、貿易に関する国際交渉や農業施策の見直し、北方領土、空港民間化、観光に関する法定外目的税などについても論議しましたが、知事からは、国の対応待ちで、主体性に欠ける答弁が続きました。いずれの課題も、地域や道民生活に大きく影響するものであり、議

論を重ねていきます。

補正に194億円

北海道の補正予算は、災害復旧事業費115億円、北海道空港ビルの所有株の売却金24億円を積み立てる北海道航空振興基金設置など一般会計193億1,200万円、特別会計1億4,900万円。これで、平成29年度道予算の規模は、

第4回定例会で可決された補正予算

単位：千円

	一般会計	特別会計	合計
既決予算額	2,770,434,665	651,960,470	3,422,395,135
今回補正額	19,312,366	149,294	19,461,660
合計	2,789,747,031	652,109,764	3,441,856,795

一般会計2兆7,897億円、特別会計6,521億円の合計3兆4,418億円となりました。

採択された決議・意見書

◆朝鮮民主主義人民共和国ミサイル発射に抗議する決議 ▼将来にわたり安全・安心な医療制度の提供を求める意見書 ▼ライドシェアの推進に対する慎重な審議を求める意見書 ▼産業用大麻の産業化に向けた必要な環境整備を求める意見書 ▼私立専修学校等における専門的職業人材の育成機能の強化等を求める意見書 ▼朝鮮民主主義人民共和国からの不審船に関する意見書

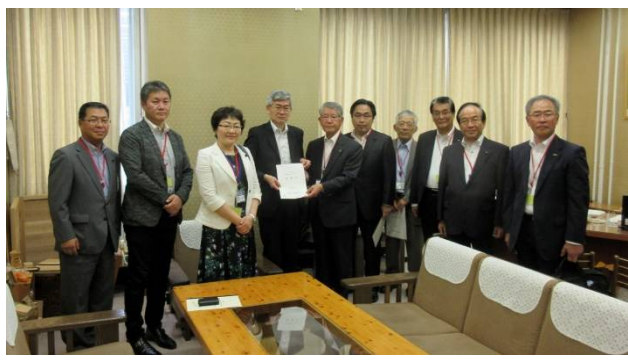
お詫び!

「ゆうこう便り2017年10月(秋号)」は、解散総選挙と重なったため、休刊としました。

写真で振り返る北口道議の活動記録(7月〜12月)



豪州ゴルフバーンの学生と神輿を担ぐ(7月15日)



林活議連で沖修司林野庁長官へ要請(7月12日)



きたごりんファームでの稲刈り作業(9月16日)



ベトナムと台湾のサッカー少年を受入(8月8日)



てん菜振興自治体協議会から要請(11月14日)



桜丘自治会の元気まつり(9月24日)



難病連クリスマスパーティーに参加(12月17日)



全国都道府県知事会から10年勤続表彰(12月5日)



富良野市功労者表彰式(11月3日)



士別市文化賞・功労章・社会貢献賞表彰式(11月2日)

北口ゆうこう奮闘日記

http://y-kitaguchinet/

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋して紹介します。(7月〜12月分)



上川町消防団を激励

◆7月14日【消防操法訓練大会】▼今日は、江別市にある北海道消防学校で「北海道消防操法訓練大会」に出席し、参加した皆さんを激励してきた▼今日は今年一番の暑さ！そんな暑さに負けず、全道各地から集まった12チームは、『早く、正確』を基本に熱戦を繰り広げ、上土幌消防団が優勝、準優勝には興部消防団が入った

▼上川管内を代表して出場した上川町消防団は、キビキビとした動作と素早い消火などの操法を披露したにも関わらず、残念ながら6位に留まった。



旭川市でオスプレイ参加反対を訴える

◆8月19日【オスプレイ反対集会】▼日米合同訓練は、8月10日から28日までの日程で開催されており、当初からオスプレイが参加しての訓練と伝えられていたが、

今月5日にオーストラリアで事故を起こし、日本も自衛隊を申し入れていた▼しかし、事故の原因等も明らかにしないまま米軍は安全宣言を行い、日本政府もそれを受け入れ、18日からオスプレイが参加しての訓練に

なっていた▼私たちは緊急ではあったが、党、連合、農連の三軸での合同で開催し、日米合同訓練規模縮小・オスプレイ参加反対を訴えた。そして私たちは、道民の安全安心を無視してのオスプレイの参加には強く抗議し、最後まであきらめず頑張る決意だ。



戦争をさせない集会で講演する上田氏

◆8月23日【戦争をさせない士別市民集会】▼今日は、

「戦争をさせない士別市民集会(神田壽昭実行委員長)」に参加してきた▼集会では、冒頭神田実行委員長から開会挨拶。続いて、自治労士別市職労の広島体験学習事業で広島県を訪問した田中柊舞君(中二)から体験報告を

受け、その後の基調講演では前札幌市長の上田文雄氏から「いま、平和と憲法が危ない！」と題したお話をいただいた▼さらに、先の大戦で亡くなった700名を超える方々の名簿を確認し、戦争をさせない集会宣言を採択。最後は、『戦争させないコール』で、戦争をさせないことを誓い合った。



さっぽろ市士別ふるさと会で挨拶

【KUSUJUN】

るさと士別との交流事業などについての報告のあと、「われわれ戦前生まれで戦争を体験した者としては、憲法9条を守ることを継続していかなければならないとお話しされ、戦争の無い社会を目指すことがふるさとを思うことに繋がることを認識が示された。

▼昨年の世相を表す漢字一文字は「北」となった。どうやら北朝鮮による、度重なるミサイル発射事案や核実験強行などの朝鮮半島情勢の緊迫化が、この字を選ばせたのだろう▼確かに、北朝鮮の行動は良くない。アメリカと正々堂々、話し合いで自分たちの存在を認めさせるべきなのだが、核やミサイルに頼っているようでは理解は得られないだろう▼一方、アメリカや日本も「圧力」一辺倒では物事は解決しない。圧力と対話を繰り返すことこそ、拉致などの解決の近道になると思うのは、私だけだろうか。(ゆづり)